

サイエンス社・数理工学社・新世社 2018年2月の新刊案内

|| 理学 ||

ライブラリ数理学のための数学とその展開 F3
数理学のための 複素関数論

番線印

畑 政義（京都大学准教授）著
A5判 248頁 本体2300円
ISBN978-4-7819-1419-0

（ 冊）

【内容】複素関数論の入門書として、実際の講義を基に分かりやすく解説した。例題、演習問題や図を多く配置し理解度を深める工夫がされている好個の教科・参考書。

【主要目次】複素数／複素平面／複素球面／正則関数／整級数／初等関数／複素積分／積分定理／正則点における展開／孤立特異点のまわりの展開／正則関数の絶対値／有理形の関数／有理形関数の構成と展開／正規族／楕円関数

|| 雑誌 ||

数理学2018年3月号
特集名：量子論的思考法のすすめ
— 量子力学から見た諸分野の姿 —

番線印

B5判 100頁 本体954円
20日頃発売

（ 冊）

【内容】量子力学の考え方は今では物理学だけでなく数学をはじめとした理工系諸分野にも浸透してきており、現代では必須事項になりつつあります。本特集では数理学の様々な分野において、量子力学的思考が、なぜ必要となったのか、それまでの考え方や概念をどのように変えたか、どのように応用/発展していったか、その分野においてどのような位置付けにあるか、について紹介していきます。

【主要目次】巻頭言／古典力学から量子力学へ／量子論と電磁気学／量子論と統計力学／量子論と相対論／量子論と素粒子物理／量子論と代数 — 思考と表現の進化論／量子と情報 — 量子力学から始まる新しい情報科学／【コラム】君はシュレディンガーの猫を『観た』か？

【好評発売中！別冊数理学[既刊]】

臨時別冊・数理学SGCライブラリ 139
ブラックホールの数理学
— その大域構造と微分幾何 —

番線印

石橋明浩（近畿大学准教授）著
B5判 200頁 本体2315円

（ 冊）

【内容】本書は、一般相対論におけるブラックホールの数理学的基本性質の解説を目的とする。時空次元を一般化して考察することで、高次元ブラックホールの探求はもちろんのこと、4次元時空のブラックホールの特徴がより鮮明になるよう、次元による違いや問題点を比較しつつ解説することを試みた。

(株)サイエンス社・数理工学社・新世社 営業部 担当:瀧山
東京都渋谷区千駄ヶ谷1-3-25
TEL (03) 5474-8500
FAX (03) 5474-8900
ホームページ <http://www.saiensu.co.jp>
営業部E-mail sales@saiensu.co.jp
※お問い合わせに関しましては上記までお願いいたします。